

平成21年9月期 第3四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 横浜冷凍株式会社

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 岩田 修自

TEL 045-326-1010

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第3四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第3四半期	82,982	—	814	—	1,089	—	600	—
20年9月期第3四半期	95,045	0.7	2,742	△1.1	2,937	△1.6	1,624	△3.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第3四半期	11.59	—
20年9月期第3四半期	31.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第3四半期	78,335	55,188	70.1	1,060.01
20年9月期	76,478	55,873	72.7	1,072.89

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 54,892百万円 20年9月期 55,589百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	9.00	—	11.00	20.00
21年9月期	—	10.00	—		
21年9月期 (予想)				10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 20年9月期 期末配当金の内訳には、記念配当2円00銭を含んでおります。

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,630	△5.3	1,865	△45.9	2,070	△43.6	1,000	△47.0	19.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第3四半期 52,450,969株 20年9月期 52,450,969株

② 期末自己株式数 21年9月期第3四半期 666,030株 20年9月期 638,300株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第3四半期 51,796,345株 20年9月期第3四半期 51,848,423株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 平成21年9月期 第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨秋以降の世界的な経済悪化の影響で、輸出関連企業を中心とした厳しい企業収益状況を背景に設備投資は大幅に減少、所得環境の悪化及び失業増加による雇用環境の先行き不安等により個人消費は低水準で持続するなど、景気低迷が長期化する状況で推移しました。

食品関連業界におきましても、景気悪化の影響により消費動向は低調に推移し、加えて国内市況の急激な下落が年初まで続き、春以降は相場も底を打ち回復基調にあるも、事業環境は厳しい展開となりました。

このような状況のもと当社グループは、平成20年11月に発表いたしました新中期経営計画（3ヵ年）の事業方針に基づき、冷蔵倉庫、食品販売の両事業部門ともに更なるサービスの高度化や新規需要の開拓に積極的に取り組んで業績の向上に努めてまいりました。

しかし、冷蔵倉庫事業は概ね計画どおりに推移するも、昨年10月以降の急激な畜肉相場下落の影響を大きく受けた食品販売事業の売上高及び利益の減少を当第3四半期で取り戻すことができず、その結果、売上高は82,982百万円（前年同期比 12.7%減）、営業利益814百万円（前年同期比 70.3%減）、経常利益1,089百万円（前年同期比 62.9%減）、固定資産売却及び除却損等の特別損失154百万円もあり、四半期純利益は600百万円（前年同期比 63.0%減）となりました。

(2) セグメント別の概況

①冷蔵倉庫事業

個人消費低迷の影響により荷動きが鈍い状況が持続しましたが、ブロック体制を強化した集荷活動及び運送の取扱いを積極的に推進した結果、運送収入は前年同期比で22.8%の増加、国内入出庫取扱量は前年同期比で約13千トンの減少となるが平均保管在庫量は11.2%の増加となり保管料収入の増加で荷役料収入の減少をカバー、加えて前期新設した物流センターも寄与し前年同期に比べ売上高は増収となりました。前期に新設した物流センターなどの減価償却費負担（前年同期に比べ149百万円増）等により前年同期と比べ営業利益は僅かな減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は14,535百万円（前年同期比 3.5%増）、営業利益は2,702百万円（前年同期比 2.2%減）となりました。

②食品販売事業

昨年10月以降の急激な畜肉相場下落も春以降は底を打ち下落に歯止めがかかるも、依然として国内消費需要は低迷し厳しい事業環境で推移しました。当第3四半期においては、水産品はエビ等の主力商品の販売強化、農産品は北海道地区の販売拠点を増強した効果により販売数量を増加することができ、前年同期に比べ売上は増加し、利益率も維持することができました。畜産品においては、需給バランスの改善の遅れ等により前年同期と比べ需要が大幅に減退したことにより、売上は減少しましたが利益率は維持でき回復基調に向かっています。しかし、第2四半期累計連結期間で発生した畜産品相場の急激な下落に伴う処分損及び秋鮭の不漁等による大幅な減収減益をカバーすることができず、当第3四半期連結累計期間の売上高及び利益は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は68,421百万円（前年同期比 15.5%減）、営業損益は808百万円の営業損失（前年同期は1,208百万円の営業利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

連結貸借対照表には、新たに連結対象子会社となった株式会社セイワフードが第1四半期連結期間末より、株式会社アライアンスシーフーズが第3四半期連結期間末より含まれています。

(1) 資産、負債、純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比べ1,857百万円増加し、78,335百万円となりました。これは主に商品の増加が752百万円、現預金の増加が764百万円、連結子会社取得によるのれん増加が1,467百万円、売掛債権の減少が1,662百万円等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ2,541百万円増加し、23,146百万円となりました。これは主に借入金の増加が5,140百万円、社債の増加が832百万円、仕入債務の減少が1,522百万円、設備関係支払手形の減少が957百万円、未払法人税等の減少が767百万円等によるものです。また、純資産につきましては前連結会計年度末と比べ684百万円減少し55,188百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

第2四半期連結期間末より連結キャッシュ・フロー計算書には、新たに連結対象子会社となった株式会社セイワフードが含まれています。

当第3四半期連結期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 737百万円増加の2,927百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業キャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、4,180百万円であり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益971百万円、減価償却費2,354百万円、売上債権の減少額2,312百万円、たな卸資産の減少額1,528百万円による資金増加と仕入債務の減少額2,126百万円、法人税等の支払額897百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、4,824百万円であり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出2,689百万円、連結子会社株式の取得による支出1,937百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、1,399百万円です。これは金融機関からの借入の純増額2,640百万円による資金増加と配当金の支払額1,087百万円などの資金減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（会計処理基準に関する事項の変更）

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として月別総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として月別総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ59百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

この変更に伴う当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を7～13年としておりましたが、平成20年度の法人税法の改正を契機として見直しを行い、第1四半期連結会計期間より10～12年に変更しております。

これにより営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,040	2,275
受取手形及び売掛金	13,470	15,133
商品	7,659	6,907
その他	494	592
貸倒引当金	△43	△39
流動資産合計	24,621	24,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,028	24,103
機械装置及び運搬具(純額)	4,244	4,654
土地	17,172	16,223
その他(純額)	418	486
有形固定資産合計	44,863	45,467
無形固定資産		
のれん	1,646	178
その他	1,481	1,483
無形固定資産合計	3,127	1,662
投資その他の資産		
投資有価証券	4,063	3,649
長期貸付金	652	207
その他	1,221	819
貸倒引当金	△216	△197
投資その他の資産合計	5,721	4,479
固定資産合計	53,713	51,609
資産合計	78,335	76,478

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,736	10,259
短期借入金	1,800	5,450
1年内返済予定の長期借入金	1,172	—
1年内償還予定の社債	300	—
未払法人税等	204	971
賞与引当金	294	674
役員賞与引当金	27	36
その他	1,722	2,302
流動負債合計	14,257	19,693
固定負債		
社債	532	—
長期借入金	7,618	—
退職給付引当金	394	423
役員退職慰労引当金	293	273
その他	51	213
固定負債合計	8,889	911
負債合計	23,146	20,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	33,158	33,645
自己株式	△497	△481
株主資本合計	54,835	55,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	203	342
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	△146	△90
評価・換算差額等合計	56	249
少数株主持分	296	283
純資産合計	55,188	55,873
負債純資産合計	78,335	76,478

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年10月1日
至 平成21年6月30日)

売上高	82,982
売上原価	77,915
売上総利益	5,067
販売費及び一般管理費	4,252
営業利益	814
営業外収益	
受取利息	21
受取配当金	61
助成金収入	129
保険配当金	23
その他	185
営業外収益合計	421
営業外費用	
支払利息	116
その他	30
営業外費用合計	146
経常利益	1,089
特別利益	
役員退職慰労引当金戻入額	33
固定資産売却益	2
特別利益合計	36
特別損失	
固定資産除売却損	71
投資有価証券売却損	7
投資有価証券評価損	35
貸倒引当金繰入額	39
特別損失合計	154
税金等調整前四半期純利益	971
法人税、住民税及び事業税	161
法人税等調整額	192
法人税等合計	354
少数株主利益	16
四半期純利益	600

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年10月1日
至 平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	971
減価償却費	2,354
のれん償却額	110
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△395
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△30
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△89
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22
受取利息及び受取配当金	△83
支払利息及び社債利息	116
固定資産除売却損益 (△は益)	69
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	43
売上債権の増減額 (△は増加)	2,312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,528
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,126
未払費用の増減額 (△は減少)	40
その他	295
小計	5,129
利息及び配当金の受取額	77
利息の支払額	△129
法人税等の支払額	△897
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,689
有形固定資産の売却による収入	58
投資有価証券の取得による支出	△303
投資有価証券の売却による収入	12
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,937
貸付けによる支出	△78
貸付金の回収による収入	192
その他	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,980
長期借入れによる収入	9,046
長期借入金の返済による支出	△425
自己株式の取得による支出	△16
少数株主からの払込みによる収入	15
配当金の支払額	△1,087
社債の償還による支出	△150
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	743
現金及び現金同等物の期首残高	2,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,927

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,535	68,421	25	82,982	—	82,982
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	732	—	—	732	(732)	—
計	15,268	68,421	25	83,714	(732)	82,982
営業利益又は営業損失(△)	2,702	△808	20	1,914	(1,099)	814

(注) 1. 事業区分は、連結会社の事業活動における業務の種類・性質の関連性及び特性を勘案して区分しております。

2. 各事業の内容

- (1) 冷蔵倉庫事業・・・水産品・畜産品等の冷蔵・冷凍保管事業及びそれに付帯する事業
- (2) 食品販売事業・・・水産品・畜産品等の卸売並びに加工処理等の事業
- (3) その他事業・・・不動産賃貸業等

3. 会計処理方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載の通り、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間における食品販売事業の営業損失は59百万円増加しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前第3四半期 (自平成19年10月1日 至平成20年6月30日)
科 目	金 額(百万円)
I 売上高	95,045
II 売上原価	88,223
売上総利益	6,822
III 販売費及び一般管理費	4,079
営業利益	2,742
IV 営業外収益	252
V 営業外費用	57
経常利益	2,937
VI 特別利益	0
VII 特別損失	75
税金等調整前第3四半期純利益	2,862
税金費用	1,225
少数株主利益	12
第3四半期純利益	1,624

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自平成19年10月1日 至平成20年6月30日)
科 目	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,862
減価償却費	2,245
退職給付引当金の減少額	△ 90
固定資産売却益	△0
固定資産除売却損	65
売上債権の増減額(増加:△)	78
たな卸資産の増減額(増加:△)	641
仕入債務の増加額	1,012
未払費用の減少額	△ 82
その他	192
小計	6,926
法人税等の支払額	△ 1,425
その他	18
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,519
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 3,962
有形固定資産の売却による収入	2
その他	△ 220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,180
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 500
配当金の支払額	△ 932
少数株主への配当金の支払額	△ 2
その他	△ 17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,452
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 124
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,294
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,170

(3) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(平成19年10月1日～平成20年6月30日)

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,050	80,968	26	95,045	—	95,045
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	684	—	—	684	(684)	—
計	14,735	80,968	26	95,730	(684)	95,045
営業費用	11,973	79,759	6	91,739	563	92,302
営業利益	2,762	1,208	20	3,991	(1,248)	2,742